

令和元年11月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和元年11月28日(木)午後2時00分開会
午後3時25分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第42号～第44号
日程第7 報告事項 報告第22号～第23号
日程第8 その他

○会議に出席した委員(5名)

1番	鹿嶽昌功	2番	吉田礼子
3番	中上之仁	4番	田口文夫
5番	三木尚美		

○説明のため出席した者(9名)

学校教育部長	岡崎正文	学校教育部次長	外岡明文
教育総務課長	浅野晋司	学校教育課長	山本直也
教育研修所長	村岡智行	学校給食課長	宮城信之
学校教育課参事	吉田裕彦	教育総務課参事	上野樹
教育総務課長補佐	西垣戸麻美		

○代表学校長(2名)

中学校校長会代表	阪口博昭
小学校校長会代表	福井加寿子

○会議に関係した事務局員(3名)

教育総務課 寺嶋晶子
松田成行
藤本真

○会議録署名委員

教育長	鹿嶽昌功
教育委員	吉田礼子

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和元年11月第244回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

また、本日は1件追加議案がございます。

議案第44号『職員の懲戒処分について』でございますが、個人情報を含む人事案件となりますので、非公開として審議したいと考えますが、いかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、追加議案は非公開とし、「日程8その他」終了後に、審議させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

(令和元年10月28日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

事務局から説明がありました会議録について、何かご質問はございませんでしょうか。

なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。

会議録署名委員は、2番 吉田 礼子委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和元年11月28日木曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教育長の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

11月も末となり、ちょうど寒気が日本列島に降りてきているということで、本当に冷え込みが厳しくなってきました。2学期もあと1か月弱となり、今年も残りわずかです。中学校3年生は進路決定の大詰め、しっかりとした進路指導を行ってまいりたいと思っています。

それでは、10月の定例会以降の活動等について、9点ほどご報告いたします。

1 第73回兵庫県養護教諭研究協議大会 (11/1)

11月1日に、第73回の兵庫県養護教諭研究協議大会が、郷の音ホールで開催されました。県内各学校から養護教諭の皆様が集まれ、大ホールそして小ホールも含めて1,000人以上の皆さんの参加で開催されました。養護教諭は日頃の学校保健活動を基本として子どもたちの健康管理や、体力・運動能力向上の取り組みに加えていじめや不登校児童生徒への対応など子どもたちが抱える心身の健康問題にも対応している、子どもたちにとって保健室が重要な場所ともなっています。本大会の研究の成果を今後の学校保健活動に活かしていただきたいと思います。

2 中学校音楽会(11/7)、小学校連合音楽会(11/8)

今年も、11月7日に中学校音楽会、翌8日に小学校連合音楽会が郷の音ホールで開催されました。中学校音楽会は、11月3日各学校で開催された文化祭の合唱コンクールでの優秀クラスが出演してくれました。小学校の連合音楽会は小学4年生を中心にリコーダー演奏や合唱を披露してくれました。今年は、母子小学校児童全員による神楽も披露してくれました。この郷の音ホールで歌うことは子どもたちにとってのすばらしい経験であると思います。これからの生活に音楽も大事に取り入れ、豊かな人生を送ってほしいと思います。

3 中学校英語暗唱大会(11/9)

11月9日の土曜日、ウッディタウン市民センターで、恒例となった中学校英語暗唱大会が開催されました。

この暗唱大会は、平成25年から始まったもので、今年で7回目です。中学生が英語学習によって培った技能を表現する場として提供

し、英語に対する学習意欲を高める、そして市全体の英語教育の充実をめざして開催しているものです。当日は、中学1年生4名、2年生6名、3年生14名の計24名の参加で、各中学校から3名という枠の中で、全中学校から参加してくれました。年々レベルが上がっている、今年はずべての生徒が、一度も詰まることなく暗唱しているとともに、抑揚や感情、身振り手振りを入れながら、素晴らしい発表をしてくれました。また、けやき台小学校児童が英語のショートコントも披露してくれました。今後も英語教育のさらなる充実を行っていきたいと思います。

4 トライやる・ウィーク推進協議会(11/12)

11月12日、地域やPTA、学校関係者や受け入れ事業者等のトライやる・ウィークにご協力いただいています関係団体の皆さんにお集まりいただき、三田市トライやる・ウィーク推進協議会を開催いたしました。本年度は、5月27日から6月7日の2週間にわたり、市内8中学校とひまわり特別支援学校、833名の生徒が参加して実施されました。ちょうど中学2年生の少ない年で昨年に比べて約100人少なかったわけですが、協議会では、今年の実施状況の報告、アンケートの結果などを報告させていただき、来年度からの取り組みについて意見交換をさせていただきました。中学生にとって、このトライやる・ウィークは、地域や事業者など様々な皆さんに支援されていることを感じ取るとともに、これからの自分たちの生き方といったことを考える機会でもあり、意義深い取り組みであります。今後も、大事に取り組んでいきたいと思っております。

5 三田市総合防災訓練(11/16)

11月16日の土曜日、三田市の総合防災訓練が、三輪小学校で開催されました。今回は、三輪小学校が土砂災害特別警戒区域の指定外であったこと、三輪地区の避難所が城山公園ということで利用しづらいといったことから、今年度、三輪地区の避難所として三輪小学校が指定されたことから、開催されたものです。三輪小学校全校児童の校庭への避難訓練から始まり、消火訓練や、避難所運営の訓練など児童も見学する中で、地域の皆さんが主体となった訓練が開催されました。今年も風水害の災害が多かったわけですが、日ごろから防災意識を持って生活し、万が一の時でも、冷静な命を守る行動に結び付けていかなければならない、その意味でも防災訓練に参加する意義は大きいと思います。各学校においても防災教育のさらなる推進が必要であります。

6 第34回兵庫県私立幼稚園PTA大会(11/21)

11月21日、郷の音ホールにおいて、兵庫県内の私立幼稚園のPTA連合会の大会が開催され、来賓として式典に参加しました。県内の大会とあって、大ホールほぼ満席の中、開催されました。本年10月からの幼児教育・保育の無償化を受けて、保護者としても幼児教育のさらなる推進や環境整備を望まれていました。三田市もニュータウンを中心に、10か所の私立幼稚園に多くの子どもたちが就園しているところであり、小学校への接続といったことでも更なる連携をしていきたいと思っています。

7 湊川相野学園創立100周年記念式典(11/22)

11月22日、郷の音ホールにおいて、湊川相野学園創立100周年記念式典が開催されました。湊川相野学園は、大正8年、神戸湊川を発祥の地として誕生し、昭和20年神戸から三田へと移られ、現在に至るまで三田の高等教育を支えていただくとともに、就学前教育・保育、また、社会教育・生涯学習の分野においても多大なる貢献をいただいているところです。現在は、湊川短期大学、三田松聖高等学校といった義務教育終了後の道を開いていただいているとともに、就学前教育の分野においては、北摂三田ニュータウンのフラワータウン、ウッディタウン、カルチャータウンの3住区の開発にあわせて幼稚園の開園、認可保育園1園と小規模保育施設を運営いただくなど、小中学校と連続した学びを支えていただいているところです。今後も、連携を図りながら、夢に向かって歩む子どもたちの育成にとともに取り組んでいきたいと思っています。

8 いい歯の日&食育フェア(11/24)

11月24日の日曜日、総合福祉保健センターで、健康部局が開催する「いい歯の日」に合わせて食育推進のための「食育フェア」を開催しました。昨年から絵手紙等の表彰式典は行っていませんが、多くの子どもたちや市民のみなさんに参加いただきました。絵手紙の全応募作品の展示や各学校園での食育活動の紹介、「ちりめんモンスターさがし」や「クッキータワーづくり」「絵手紙教室」など子どもたち、また保護者も含めて、楽しんでいただきました。健康や、食に対する意識といったものを考える機会になったのではないかと思います。

9 12月三田市議会定例会(11/28)

本日午前、12月の定例会市議会が開会いたしました。会期は12月20日までの23日間となっており、教育委員会としては、小学校特別教室等への空調設置の設計予算の補正を提案しています。また一般質問等もあると思いますが、丁寧に答弁していきたいと思っています。

おります。

今年もあと1か月、本格的な冬の到来ですが、インフルエンザ等、子どもたちの健康にも留意していきたいと思っております。私からは以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に入ります。

(1) 県費負担教職員のサービスの監督その他人事の一般方針を定めることについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第6号関係】

○教育長
(鹿嶽 昌功)

議案第42号「令和2年度県費負担教職員人事異動方針について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課
(浅野 晋司)

議案第42号「令和2年度県費負担教職員人事異動方針について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

説明がありましたように、公立学校教職員異動方針に基づいて進めて参りたいと思いますが、何かご質問などございますか。

○教育委員
(田口 文夫)

基本方針(1)の人事の刷新の中に風通しの良い職場風土と表現されてはいますが、要件としてどの様な事を想定していますか。

○教育総務課
(浅野 晋司)

風通しの良いという言葉は、抽象的な表現になりますが、概ね2つのことが挙げられます。1点は、管理職と一般教員の風通しということと、職員間、いわゆる同僚の2点を想定しています。内部統制が取れているかということと、仲間意識、職員間で上手く連携が取れているかということになります。一部の職員に偏った職員構成、雰囲気というのをなるべく排除する体制をとることを考えています。

○教育委員
(田口 文夫)

管理職と一般教員との場合は、ガバナンス、統制がしっかりと取れているということ、2点目の一般教職員同士については、連携体制が取れているということですね。繰り返し確認させていただきました。ありがとうございます。

もう1つ質問があります。配置転換の対象を、3年とし、6年を限度とするということですが、例えば、4年目、5年目、6年目の教員については、学年配置も含めて、計画的な配置となるよう、各学校の校長先生が計画をたてているのですか。6年目の先生に5年生の担任を担当させると、次年度は、6年生の担任に配置することが難しいので、それを避けて、4年生の担当になるほうが良いのではないかなど考えられるのでしょうか。在任期間について、表になっていたりするのでしょうか。それとも教育委員会事務局が、教員の在任期間を把握しているのでしょうか。

○教育総務課
(浅野 晋司)

人事ヒアリングを2回ほど実施しています。その中で、各学校の先生方の構成、現在の仕事の担当内容、次年度以降どの様な役割を担当する予定なのかなど明記していただき、その内容を踏まえて、在勤年数や現在の学校での役割、特別支援の担当等、当然考慮しなければいけないこともございますので、原則6年を1つの区切りとしておりますが、継続的な事案も出てくる可能性もあると考えております。また、急に勸奨退職となる教員もおりまして、学校の指導の継続性を考慮したケースや、その他の配慮が必要になった場合には、その様な事を総合的に判断することになります。

○教育委員
(田口 文夫)

6年目以降も限度がなく在任させるということですか。7年目以降も8年目、9年目、10年目と現任校にいらっしゃる先生もいるということでしょうか。

○教育総務課
(浅野 晋司)

基本的には6年です。ただ、配慮しなければいけない事案もあるということで、7年目もあり得ますが、基本6年と考えております。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただ、どうしても、小規模校となると、外すことができない、要の教諭の方がいますので、ある程度は考慮しなければならないのですが、在任期間が長くなることは、あまり良くないと思っております。3年目からは異動対象となりますし、6年目以上については、原則異動です。私も、何年か経験して推察いたしますと、教職員の

異動の方針については、各学校の校長先生方は、6年を1つの区切りと考えておられ、学校運営についても教員の異動を考えながらされているようです。また、教員の方達も6年を区切りと考えていらっしゃるように思います。

○教育委員
(田口 文夫)

私個人の意見ですが、校長先生のリーダーシップを発揮できれば、素晴らしい学校運営となりますが、東須磨の事件（教員同士のいじめ）は校長先生の私的な部分が反映され、方法を間違えると大変な事態になると思います。現任校に6年目以降も在任することをどう判断するかですね。東須磨の事件以降、世間の目が厳しくなっていると思います。市民の方や、保護者の方に納得していただける説明責任が、教育委員会にあると思います。

○学校教育部長
(岡崎 正文)

学校のなかで、次年度もどうしてもこの先生がいなければ、学校運営が成り立たないという場合のみ、6年目以降も継続して現任校に配置する方針です。説明責任は果たせると考えております。それから、8年目、9年目の先生方の多くは、産休、育休を取得されている方達です。現在は育休が3年間取れますので、産休、育休期間も在任期間となり、職場復帰される時は、現任校となりますので、実質的には6年目となりますが、総合すると9年目となる教員の方はいらっしゃいます。

○教育委員
(吉田 礼子)

私は、宝塚市と三田市の教員をした経験からですが、宝塚市は、教職員異動方針の年数がいまいだったように思います。13年目、14年目の先生が在任していた場合があり、東須磨の事案のような温床になりかねないところもあったように思いました。三田市は、現場の校長先生方も異動方針を了解している状況で、学校運営に反映していたように思いましたし、教職員も在任期間6年目を区切りとしている心づもりがあるように感じました。教職員の異動方針は継続していく方が良いと思います。また、風通しのよい職場風土について、ご説明があったように2つの視点も大切だと思いますが、私の意見といたしまして、コミュニティ・スクールをもっと活用して、外部の意見を取り入れていかないと、学校は変わることが出来ないと思います。東須磨の事案を見ると、外部の意見をほとんど取り入れていなかったように思います。昨日の神戸新聞の記事に、そのような事も記載されていました。「先生が児童と向き合う研究風土を作って、校内研究を進めていかなければならない。コミ

コミュニティ・スクールを活性化する事が大事である」とありました。その通りだと思います。一つの目標をもって地域・学校全体が進むことで、風通しの良い風土が生まれるのではないのでしょうか。人事に関しては、異動方針に沿って進めていかなければなりませんし、学校はもっと大きな枠組みの中で動いていますので、コミュニティ・スクールの活用が必要となっていると思います。学校運営の方策を大きな枠組みの中で重点的に見ていく必要があると思います。

○教育委員
(田口 文夫)

吉田委員がおっしゃった3つ目の視点として、地域に開かれた学校、コミュニティ・スクールを活用していく事が風通しの良い職場風土を作っていくという事ですね。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。風通しの良い風土につきましては、次回の校長会でも説明していきたいと思えます。

他にご質問、ご意見等ございますか。

ないようでしたら、このような方針で進めていきたいと思えます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

(2) 教育委員会規則及び教育委員会規程の制定又は改廃を行うことについて【三田市教育委員会事務委任規則第1条第11号】

議案第43号「通学費補助規則の一部を改正する規則の制定について」事務局から説明をお願いします。

○学校教育課参事
(吉田 裕彦)

議案第43号「通学費補助規則の一部を改正する規則の制定について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問などございませんか。

○教育委員
(吉田 礼子)

第5条の2ですが、申請があった日以降から、通学費の補助をすることになるわけですが、正当な理由がある場合は、この限りではないとあります。事務局側に正当な理由があるということだと思えますが、どの様な理由が発生すると考えていらっしゃるでしょうか。

○学校教育課参事

事務処理をするうえで、定期券等は現物支給となりますので、市が

(吉田 裕彦)

ＩＣカードを購入する際に、申請日や時間帯によっては、支給が困難な場合を想定しています。

○教育委員
(吉田 礼子)

わかりました。ありがとうございました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

文書では表現しづらいのですが、事務処理上、間に合わないときがありますので、このように表記する必要があります。

○教育委員
(田口 文夫)

役所は常に「正当」なものだと思いますので、「その他正当な理由がある場合は」の「正当」という言葉の表現が、私は少し気になります。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

表現については、内部で検討させていただきます。
今回の規則の制定で、保護者の方の負担は、かなり減ることになります。他にご意見等ございますか。
なければ、このように承認します。

日程第7 報告事項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして報告事項に移ります。

報告第22号「学校給食費徴収金の債権放棄について」事務局から説明をお願いします。

○学校給食課長
(宮城 信之)

報告第22号「学校給食費徴収金の債権放棄について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問などございますか。

○教育委員
(田口 文夫)

債務者が居所不明とありますが、子どもはどのような状態になっていますか。

○学校給食課長
(宮城 信之)

この家族は、日本の方ではなく、国外に転居されました。

○教育委員
(田口 文夫)

2、3年前にもこのような事例がありましたね。外国に引っ越されて給食費が徴収できなかったですね。

○学校教育部長
(岡崎 正文)

今回は、3月分の給食費は、4月に納めていただくのですが、3月末に海外に引っ越しされましたので徴収出来ませんでした。

○教育委員
(田口 文夫)

海外に出国させないということは、出来ないのでしょうか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

転出手続きをするときに、市民課に債権がある事を分かっていて、教育委員会に連絡が入るように連携出来れば、出国する前に、徴収できる機会があるかもしれませんね。

○学校教育部長
(岡崎 正文)

外国の方の中には、転出の手続きをすることを知らない方もおられ、手続きをせずに出国される方もいますから、難しいと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に、何かございますか。
ないようでしたら、これにて報告とさせていただきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

報告第23号「12月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

報告第23号「12月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(吉田 礼子)

12月19日の第1回上野台・八景中学校再編地域協議会ですが、議題についてですが、地域の方の意見を聴くということが中心になるのでしょうか。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

第1回目につきましては、まず、地域の方にお集まりいただいて、これまでの経過を確認いただきまして、これからの計画の流れを説明させていただき、それから最終的に、会長、副会長を選任するところまで進めることが出来れば良いと思っています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

なかなか議論まで進まないと思います。まず、顔合わせをしていただいて、この地域協議会がどのような会なのかの理解していただき、どのようなゴールをめざしているかということを確認いただきたいと思っています。

行政側が全て主導権を持つのは良くないので、地域の方や保護者の方が主体的に進めていただきたいと考えておりますので、会長、副会長を互選していただく方向でお願いしたいと思っています。選任作業は難航すると思われませんが、上野台と八景の地域の代表の方と、保護者の方4名の方をまず選出いただいて、その中から互選で、会長、副会長をつとめていただければと思っています。

2か月に1回を目安に、協議会を開催していきたいと思っており、第2回目からは、具体的に課題や、中学校再編の思いなどを話し合いいただきたいと思っています。

まず、現在の案は、行政案で確定ではありませんので、皆様のご意見を聴いて、1から協議し、再編の是非を決定しなければいけません。皆様のお考えは、学校再編に向けて進んでいくと思われませんが、難しい問題もありますので、1つ1つ進めていかなければならないと思っています。

○教育委員
(吉田 礼子)

整理しないといけない課題は沢山あります。学校の場所をどうするのかということから、生徒達の通学路、安全確保など色々ありますよね。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

場所については、購入できるかどうかわかりませんので、協議会で決定できることではありません。場所はどのような条件が望ましいのか、通学路や安全確保について協議することになると思います。道のりは陰しいと思いますが、ゴールに向けて進めていきたいと思

ます。市長とも確認しましたが、再編に向けて進めていくことで意見は一致しております。

12月の日程行事予定は以上になります。

これにて報告とさせていただきます。

日程第8 その他の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、12月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

12月教育委員会定例会の開催日時は令和元年12月20日(金)午後4時00分から、南分館601会議室で予定しております。よろしくお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校長からの報告です。
中学校校長会代表、小学校校長代表より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
(阪口 博昭)

○文化祭の取り組みについて

11月3日に文化祭を行いました。どの中学校でも、文化祭の中で合唱コンクールを行い、各校の代表2クラスが、11月7日に郷の音大ホールで実施された三田市音楽会に参加しました。どの学校の合唱も素晴らしいものでした。各校の確かな取り組みを感じました。

○ダンス発表会について

11月12日には、ホロンピアホールにて、ダンス発表会が行われました。中学校で行うダンスは、生徒たちがテーマを決めて、そのテーマに合った創作ダンスを作りあげたり、リズムダンスでテーマを表現したりするものです。各校2グループずつ参加でしたが、どのグループも工夫を凝らして上手に表現できていました。

○校外学習について

11月は、多くの学校で2年生の校外学習が実施されています。校外学習では、修学旅行に向けて、班別に行動計画を考え、京都市内などを班ごとに散策しました。実施した学校は、どの学校も大きなトラブルもなく、スムーズに行動できていたようです。この経験

が、修学旅行に繋がっていくと思います。

○期末テストについて

期末テストが実施されました。3年生にとっては、いよいよ進路決定の時期でもあり、学習に真剣に取り組むだけでなく、各担任や進路担当と懇談を進めて、進学先を決定しつつあります。

○トライやる・ウィークについて

11月末から12月にかけて、各校で来年度のトライやる・ウィークに向けた「中学校区トライやる・ウィーク推進委員会」が開催されました。保護者ボランティアや地域ボランティアにお集まりいただき、来年度のトライやるに向けて、活動計画や事業所への訪問内容について説明を行いました。1年生の生徒たちもこれからトライやる・ウィークに向けての取り組みを進めていきます。

○小学校校長代表 (福井 加寿子)

○連合音楽会について

今月(11月8日)に「第72回連合音楽会」を郷の音ホールで開催しました。今年の連音は、隔年参加の母子小学校が参加して神楽を披露しました。また、ひまわり特別支援学校は、今回から該当学年児童が在籍するときのみ、富士小学校と一緒に出演するということになり、今年は全21校がそろそろ嬉しい大会になりました。

この会は従来から4年生が出演していますが、近年の小規模化によって4年生だけでの出演が難しいとの声もあります。母子小は早くから全校生で隔年出演になっていますし、今年も志手原小、本庄小、小野小の3校が、3・4年生合同で出演しました。

しかし全体を通して鑑賞すると、人数の多少にかかわらず、各学校の持ち味を生かした歌声は素晴らしく、心に響くものがありました。

鹿嶽教育長様はじめ、教育委員のみなさまにも、公務ご多忙の中、ご鑑賞いただき、たいへんありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

○児童生徒作品展について

今月30日(土)から12月2日(月)まで、ウッディタウン市民センターで「児童生徒作品展」を開催します。児童の図工、書写の作品を展示します。各校の特別支援学級の作品も工夫を凝らしています。日ごろの学習成果を広く皆様に見ていただける機会としていますので、ご来場いただければ嬉しく思います。よろしく願いいたします。

○研究発表会について

研究発表会について、2学期は今日までに7校で研究発表会が開催され、各校での研究推進の取り組みを発表しました。ご参加、ご指導いただきました先生方ありがとうございました。2学期は明日の三田小の道徳の研究発表会が最終になります。3学期には1月に4校が予定しています。

○校長会研修について

最後に、来月6日（金）に予定しています校長会の研修について少しご報告させていただきます。今回は淡路市立松帆小学校でプログラミング教育を先進的に研究実践されている、黒田昌克（まさかつ）教諭を講師に招き、その取り組みについて具体的に学びます。新たな教育課題についても、校長としての知見をしっかりと深め、準備を進めたいと思います。

今後ともご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

○教育長
（鹿嶽 昌功）

ありがとうございました。

引き続きまして、本日の追加議案に移ります。

冒頭で決定しましたとおり、人事案件となり非公開となっておりますので、事務局関係者以外はお退席をお願いいたします。

《事務局関係者以外退室》

○教育長
（鹿嶽 昌功）

（3）人事の一般方針を定め、並びに分限及び懲戒を行うこと

【三田市教育委員会事務委任規則第1条7号関係】

議案第44号「職員の懲戒処分について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
（浅野 晋司）

議案第44号「職員の懲戒処分について」事務局から説明。

《非公開審議》

○教育長
（鹿嶽 昌功）

それでは、このように決定することといたします。

《事務局関係者以外入室》

○教育長

その他何かございませんか。

(鹿嶽 昌功)

それでは、以上をもちまして本日の教育委員会定例会を閉会いたします。